



COMIT

Center for One Medicine Innovative Translational Research

One Medicine

創薬リサーチマネジメント人材実践的育成プログラム
履修ガイド 2026

Practical training program for human resources in drug discovery research management
based on the concept of One Medicine

Practical training program guide

2026

This group of lectures will be conducted
in Japanese.



リサーチマネジメント 実践学

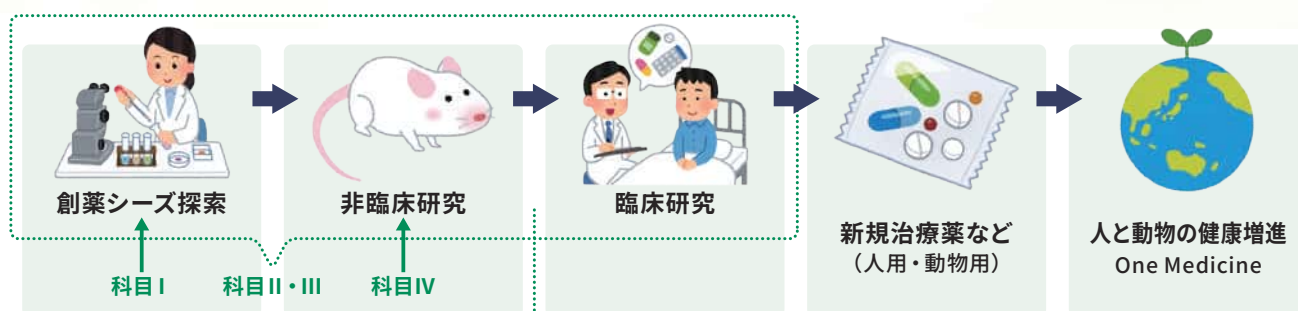


創薬リサーチマネジメント人材実践的育成プログラムの目的

本プログラムの目的は、創薬や医療技術の基礎知識と応用事例を学び、研究開発に必要な専門以外のスキル、「トランスフェラブルスキル」を身につけることです。

具体的な創薬プロセスとリサーチマネジメント人材の位置づけ

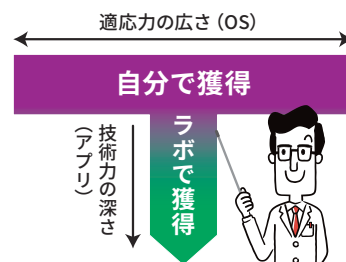
以下の図の通り日本では、創薬開発のプロセス全体を理解し、適切にマネジメントできるリサーチマネジメント人材が不足しています。この人材不足が創薬研究の進展を妨げています。そこで、創薬の専門知識やスキルを持ち、プロセス全体を俯瞰して業務を推進できる人材を育成するためのプログラムが設計されました。



日本では人材が不足。創薬研究推進の大きな障害に!!

リサーチマネジメント人材として獲得するスキル

創薬リサーチマネジメント人材が能力を発揮するためには、基礎的な創薬知識と研究スキル(科目Ⅰ・Ⅳ)に加え、コミュニケーション力やリーダーシップなどのトランスフェラブルスキル(科目Ⅱ)を身につけることが必要かつ重要です。これらのスキルは、創薬事例研究(科目Ⅲ)を通じてさらに強化されます。



科目	科目名	単位	開講(予定)	コマ	講義コード
Ⅰ	創薬基礎研究実践学	3	各講義による	各講義による	各講義による
Ⅱ-①	リサーチマネジメント実践学 [基礎]	2	水4限	15	1USS02001
Ⅱ-②	リサーチマネジメント実践学 [応用]	1	火4限	8	2USS02002
Ⅱ-③	リサーチマネジメント実践学 [ロールプレイ]	1	7~8月予定	3 (1コマ4~5時間)	3USS02005
Ⅲ	創薬シーズ育成研究実践学	1	火4限	8	2USS02003
Ⅳ	臨床研究実践学	1	不定期	調整中	3USS02004

過去の実績 - 2025年度の実施の様子 -



2025年度 受講者実績



受講者アンケートでは **5段階評価で4.8**
の評価をいただきました!!

※科目IIの評価の平均値
(ロールプレイ編除く)

とても多くの方に
受講いただき
ました!

受講者平均
科目II
(ロールプレイ編除く)

基礎編 約**60**名 / 応用編 約**30**名



受講生たちの声を紹介
- Interview -

2025年度
時点



科目II-①【基礎編】

名古屋大学大学院 医学系研究科・産婦人科学 / 環境医学研究所・分子代謝医学分野 / 竹田 健彦さん

専門分野(私の場合は医学)における研究内容や先端技術については、通常の大学院特論や特プロによって触れることが可能ですが、アカデミアのみならず、企業に所属されている諸先輩方による実践的な講義を拝聴することは、貴重な機会だと思います。残念ながら現地参加は叶いませんでしたが、web参加が可能であったため大変助かりました。講義スライドのみならず、Q&Aについても情報共有いただき、他の受講生の方々の疑問点からも学ぶことができ、有意義なプログラムでした。何人かの講師の先生が口にされていた、「VUCA時代」が、まさに現代のキーワードかと思ひますし、プログラム全体を通じて、リサーチマインドを持った我々医学研究者にとっても、「VUCA時代」を生き抜く上での重要な知見が得られたのではないかと感じました。ありがとうございました。



科目II-②【応用編】

岐阜大学大学院 自然科学技術研究科 / 桐井 菜美さん

実際に企業で研究をされている方のお話を直接伺うことができる点が、本プログラムの大きな魅力です。製品開発に関するエピソードに加え、環境保護や知財マネジメントなど、さまざまな企業の取り組みについて知ることができ、どの講義も大変興味深い内容でした。また、質疑応答の時間も充実しており、どのような質問にも分かりやすく丁寧にお答えいただけるため、理解をより一層深めることができました。創業や研究職を志望する学生はもちろん、幅広い分野に関心を持つ学生にもぜひおすすめしたいプログラムです。



科目II-③【ロールプレイ編】

岐阜大学大学院 自然科学技術研究科 / 藤春 結菜さん

本講義では、講師の方のお話を聞くだけでなく、ロールプレイで実践する機会もありました。そのため、講義で学んだことをどのような場面で活かすことができるのかがわかり、日常生活でも実践できていると感じています。またロールプレイを通して、ビジネスマナーは相手のことを思う行動であることが実感でき、非常に印象に残っています。社会に出てからも役立つことを学ぶことができる講義だと思います。



科目IV【臨床研究】

岐阜大学大学院 自然科学技術研究科 / 井藤 茶羅さん

私は以前より創業研究に関心があり、その中でガイダンスの際に本講義を知り、創業や医療について学べる貴重な機会だと考え受講しました。情報化社会の到来と共にAI技術も発達したことで、全国や時には国を越えて電子カルテをはじめ、大量のデータを収集し、分析、改善するという一連の流れがスムーズになったということを知り、情報化の推進は医療体制の充実だけでなく、創業研究においても武器になると実感しました。また、さらなる高齢化に伴う多病性が懸念される現在、情報とどのように向き合うべきか学ぶことは有用であると思ひます。

スケジュール

開催日や講義内容は変更になる場合がございます。
最新情報はメールやHP等で周知いたします。



2026年度開講プログラム
最新情報 / 申込はこちら↑

科目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
科目 I	各講義のシラバスを参照												基礎研究専門力
科目 II-① 【基礎】						トランスファラブルスキル / 企業研究開発の実際							
科目 II-② 【応用】									知的財産調査 / 企業研究開発の俯瞰				
科目 II-③ 【ロールプレイ】	通年のうち3日												トランスファラブルスキル
科目 III										OneMedicine 研究理解力			
科目 IV	TOKUPROの講義から選択												臨床研究理解力

【科目 I】創薬基礎研究実践学 [単位数: 3]

自然科学技術研究科の科目より3科目以上受講。各講義のシラバスを参照してください。

【科目 II】リサーチマネジメント実践学(基礎・応用・ロールプレイ) [単位数: 各2・1・1]

このプログラムでは、コミュニケーション力や交渉力、リーダーシップなどのトランスファラブルスキルを学びます。また、産業界のマネジメントを若手企業人(基礎編)と経営層(応用編)の視点から紹介し、知的財産の重要性も講義します。さらに、ロールプレイを通じて実践的にスキルを習得します。

日程(予定):【基礎】4月15日～8月5日 毎週水4限 全15コマ 【応用】10月6日～12月1日 毎週火4限 全8コマ
【ロールプレイ】7月31日、8月3日、8月6日

【科目 III】創薬シーズ育成研究実践学 [単位数: 1]

ライフサイエンス系教員と製薬企業出身の実務家教員より、幅広い視点からの人獣共通医療の観点や新創薬テーマの探索等に関わる最新のトレンドを講義してもらいます。

日程(予定): 12月8日～2月2日 毎週火4限 全8コマ

【科目 IV】臨床研究実践学 [単位数: 1]

「特徴あるプログラム TOKUPRO」から該当する授業を聴講します。
該当科目はHP等に掲載予定です。



科目II リサーチマネジメント実践学



開催日や講義内容は変更になる場合がございます。
最新情報はメールやHP等で周知いたします。

2026年度開講プログラム
最新情報／申込はこちら↑

【基礎】

受講方法

対面／オンライン開催

開催日時(予定)

2026年4～7月 水4限

コマ数・単位

全15コマ・2単位

概要

獲得した専門知識や研究スキルを条件の異なる場面でも発揮できるような展開力を身につけるとともに、企業の若手研究者に産業界の研究開発の実際を学ぶ機会とする。

日程(水4限)	タイトル	講師
4月 15日	企業研究の手法／イントロ	樋口 直樹 (岐阜大学)
4月 22日	イノベーションを起こす	宗像 基浩 (ムルケレクトロニクス)
5月 13日	コミュニケーション論	福所 しのぶ (ライフエスティーム研究所)
5月 20日	知的財産マネジメント(基礎)	齋藤 優希 (サントリーHD)
5月 27日	アントレプレナーシップ(概論)	山下 良一 (シーズレイザー)
6月 3日	アントレプレナーシップ(事例)	西田 宏平 (TOWING)
6月 10日	デザインとプレゼンテーションの技法	大津 珠子 (北海道大学)
6月 17日	リーダーシップ	板倉 朋宏 (LabBase)
6月 24日	化粧品メーカーにおける研究開発 ～若手企業研究開発者①～	田崎 太悠 (アルビオン)
7月 1日	住友ファーマにおける創薬研究の進め方 ～若手企業研究開発者②～	本館 利佳 (住友ファーマ)
7月 8日	農業研究の現場と、大学で培った力の活かし方 ～若手企業研究開発者③～	穴吹 友亮 (クレハ)
7月 15日	企業における研究とアカデミアの研究・企業の研究者として感じること ～若手企業研究開発者④～	田口 陽大 (中外製薬)
7月 22日	29歳、新卒、博士。得たこと、損したこと。化粧品の安全性、キャリアと生存者バイアス ～若手企業研究開発者⑤～	川本 泰輔 (ヘンケルジャパン)
7月 29日	「研究者」以外のキャリア-AI企業でデータを扱うコンサルタントの仕事 ～若手企業研究開発者⑥～	上村 麻梨子 (JDSC)
8月 5日	酒類メーカーの研究開発について ～若手企業研究開発者⑦～	早坂 咲 (サッポロビール)

【応用】

受講方法

対面／オンライン開催

開催日時(予定)

2026年10～12月 火4限

コマ数・単位

全8コマ・1単位

概要

産業界における知的財産権の重要性と実践的な調査方法を学ぶと共に、企業の研究所長クラスを招いての戦略的、俯瞰的な企業活動を学ぶ機会とする。

日程(火4限)	タイトル	講師
10月 6日	知財マネジメント(応用)	地曳 慶一 (貝印)
10月 13日	知財調査の手法 -創業企業の知財調査からわかる企業戦略-	酒井 美里 (スマートワークス)
10月 20日	クラシエにおける研究開発 -漢方薬の研究開発を中心に- ～事業紹介①～	本田 保之 (クラシエ)
10月 27日	医療機器開発とイノベーション ～事業紹介②～	大槻 真澄 (テルモ)
11月 10日	創業への熱き挑戦-免疫チェックポイント阻害剤抗PD-1抗体ニボルマブの創製- ～事業紹介③～	吉田 隆雄 (小野薬品工業)
11月 17日	いまある社会課題を、未来に残さない。 -積水化学グループの未来に向けた挑戦- ～事業紹介④～	森川 岳生 (積水化学工業)
11月 24日	個人の野菜摂取状況を“見える化”する技術の社会実装 ～事業紹介⑤～	菅沼 大行 (カゴメ)
12月 1日	未来のエアライン -ポストコロナの移動価値や旅を再考する- ～事業紹介⑥～	津田 佳明 (ANA)

【ロールプレイ】

開催日時(予定)

2026年7～8月 3～5限

コマ数・単位

全3コマ・1単位
※1コマ4～5時間程度

受講方法

対面のみ

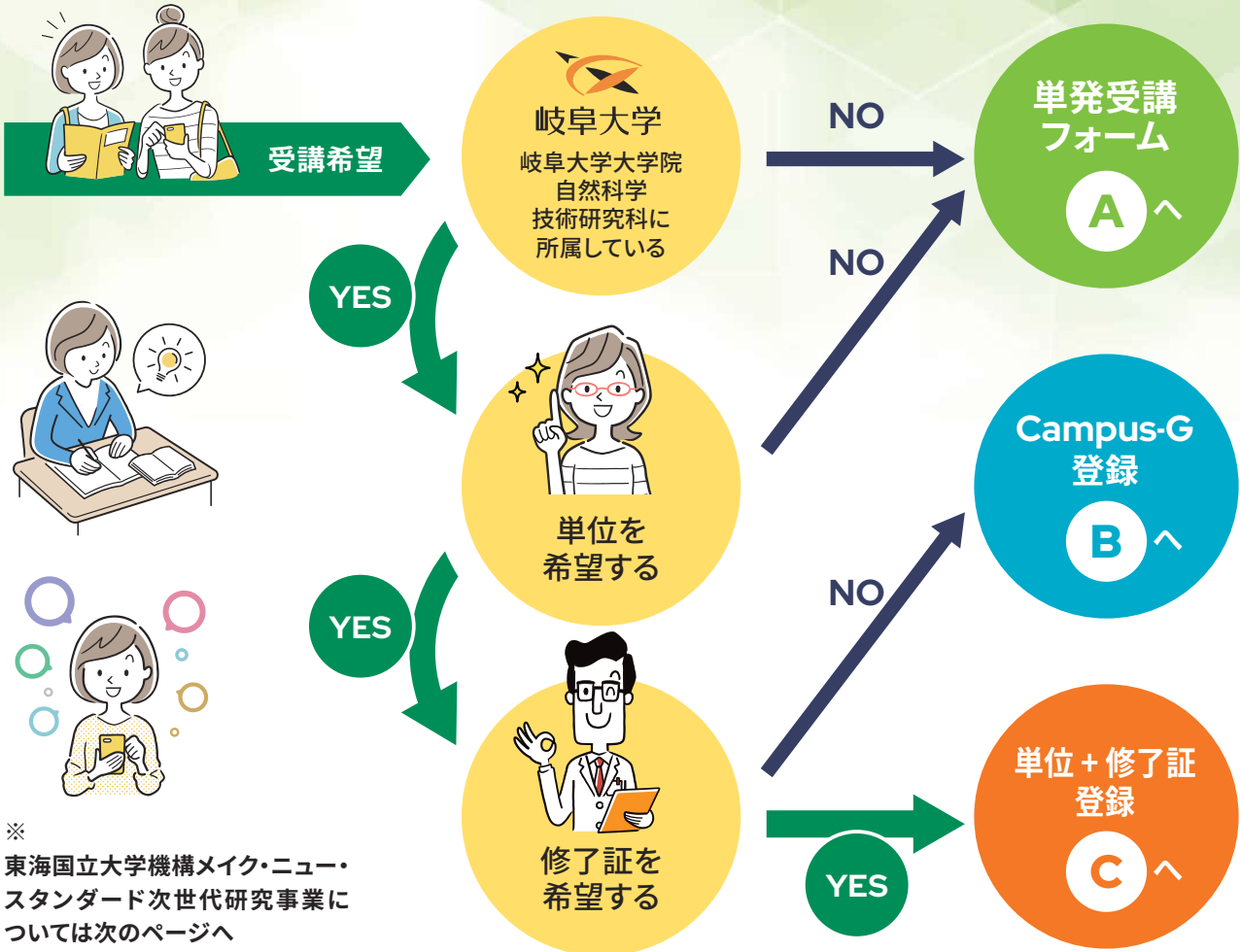
概要

上記基礎編の展開力のうち、特に演習にてスキルをより身につけることができるものを重点的に学ぶ機会とする。

日程	タイトル	講師
7月 31日	ファンリテーション	関 尚弘 (古河電気工業)
8月 3日	ネゴシエーション(交渉学)	隅田 浩司 (東京富士大学)
8月 6日	ビジネスマナー	高原 温子 (マナーインストラクター)

履修方法

単発受講も可能です。
下のチャートに沿って、自分に合う受講方法を選んでみてください。



※ 東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業については次のページへ

A 単発受講を希望する場合はこちら

HPより単発申込の受講する講義を選択し、フォーム画面にて事前申込をしてください。



B 単位のみを希望する場合はこちら

シラバス確認の上、Campus-Gから登録してください。



C 単位+修了証を希望する場合はこちら

Campus-Gから単位登録をした上で、右記QRコードのフォームより修了証希望の申込をしてください。(※1)



修了証・ 大学間連携



修了証の発行

本プログラムでは、所属する専攻の修了要件を満たすとともに、該当する単位を8単位以上修得することで修了証を発行いたします。本プログラム修了証は、COMITセンター長名で授与されます。

なお、本修了証授与をご希望の方は、単位登録に加えformsでの登録が必要です。[履修方法ページ(※1)参照]

東海国立大学機構 For RESEARCHENT

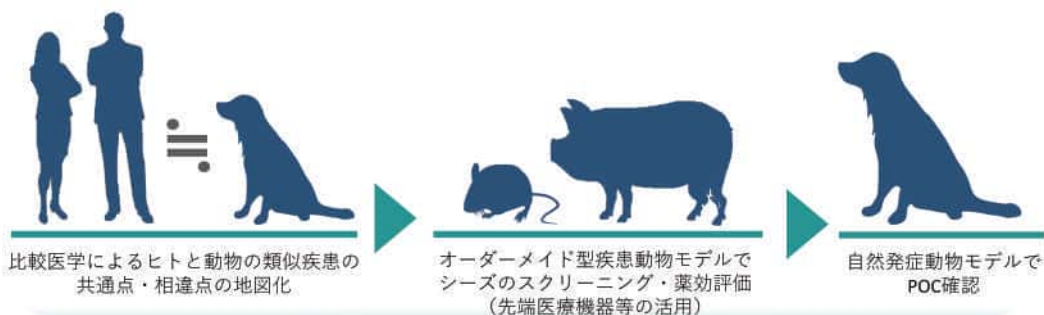
メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業



本プログラムのうち、科目Ⅱ(基礎・応用・ロールプレイ)が岐阜大学・名古屋大学の東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業に採択された博士課程学生(リサーチメント)の選択必修活動ポイント科目として認定されます。ポイントの詳細は、両大学のTACTリサーチメント用サイトにてお知らせします。

申請方法

TACTのリサーチメント用講義サイトの「お知らせ」に受講案内がありますので、そちらからお申込みください。



研究から開発への障壁 創薬研究における“魔の川” を超える

ヒト医薬品として
治験・申請

動物医薬品として
治験・申請

創薬リサーチマネジメント 人材実践的育成プログラム スタッフ紹介



One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 (COMIT) 拠点長補佐 (教育担当)
名古屋大学大学院医学系研究科 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター

教授 近藤 豊 Kondo Yutaka

本プログラムでは、「One Medicine」で画期的な創薬を目指すために役立つ、「実践的な」知識が習得できるように、選りすぐりの講師陣が揃っています。ぜひ積極的に学び楽しんでください。



One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 (COMIT) 拠点長補佐 (教育担当)
岐阜大学大学院自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻

教授 上田 浩 Ueda Hiroshi

本プログラム全体を通じ、One medicineという考え方や、基礎研究から臨床研究までの創薬プロセス理解の一助になればと思います。また、学生の皆さんが、今後、社会に出られた時、本プログラムの内容が活かされることを願っています。

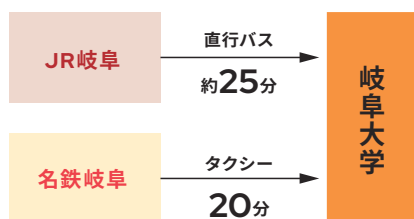


岐阜大学 高等研究院 One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター リサーチマネジメント部門

特任教授 樋口 直樹 Higuchi Naoki

リサーチマネジメント実践学は自身の専門性や研究能力を、時期や場合にとらわれずに発揮するための、社会人としての基礎能力を獲得する講座です。また、企業研究者の実態やケースを学ぶことのできる絶好の機会ですので、お楽しみに！

岐阜大学キャンパスへのアクセス方法



岐阜大学高等研究院
One Medicine
トランスレーショナル
リサーチセンター
建物外観

交通アクセス

JR/名鉄岐阜駅から大学まで約7km。朝の通学は、岐阜駅からの直行バスが便利です。7:30~8:30までは、直行バスが5~7分間隔で運行。清流ライナーや普通を加えると3分間隔で運行しています。

岐阜大学高等研究院 One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター



Address : 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1
U R L : <https://comit.gifu-u.ac.jp>
E-mail : comit-rm-program@t.gifu-u.ac.jp
(COMIT人材育成プログラム事務局)
T E L : 058-293-3162 (受付時間 平日9:00~17:00)

本プログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的プログラム (SPRING)」事業の支援を受けています。

2026年2月発行